発行所
太平山頂上鎮座
太平山三吉神社総本宮
宮司　田村泰教
秋田市広面字赤沼３の２
電　話　(018) 834－3443
ＦＡＸ　(018) 834－3444
http://www.miyoshi.or.jp

開山祭ご案内号

太平山頂上荷上げ（６月１日）　（新堀孝志氏撮影）

宮司　田村泰教

いよいよサッカーワールドカップが開幕。初戦を落とした日本の巻き返しも含め、どんなドラマが繰り広げられるのか楽しみだ。▽開催地ブラジルは日本とはとりわけ縁の深い国だ。明治四十一年から百年間にわたり十三万人もの方が日本から移住し、百六十万人以上もの日系人が住むと言う。▽南米の広大な大地に夢と希望を抱いて～と口で言うのはたやすいが、彼の地に渡った先人たちの苦労は今の私たちには想像もつかない。覚悟を決め困難に立向かった開拓精神には本当に頭が下がる。▽サンパウロ郊外には当社の御分霊を祀る三吉神社がある。昭和三十六年に、在ブラジル秋田県人会の勧請により鎮座してから五十年余り。過酷な状況下、故郷の神さんへの願いや祈りは、どれほど切実で真摯なものだったのだろうか。▽四年前、県人会創立五十周年の折に参拝する時機を得た。日系の方々も代を重ね、現地に同化していく中で、残念ながら神社を取巻く環境は厳しくなっているとのことだった。▽時を越え、世代を越えて思いや歴史を繋いでいくことの難しさに国境はない。この大会がブラジルと日本の関わりの深さに思いをはせる良い機会になればと思っている。

地元シリーズ㊽

山と私

神社協力会会員　瀧田純一

平成十四年盛夏、八月十七日、奥岳山頂手前の最後の急登にいた。

普段から健康的に体を動かす事などとは程遠い生活をしていた時期だったし、ましてや山登りなどはまったくの素人で、太平登山は小学生の折に一、二度体験していたものの、途中の湧水が非常に美味かった事くらいしか記憶もなく、無謀ともいえる一泊二日の山行だったのだが、当時参加していた団体の事業の成功を祈念し太平山登山をしようと仲間五人と子供たちを連れてのチャレンジだった。

幸か不幸か天候にも恵まれ晴天の猛暑。滴り落ちる汗、汗、汗。鉛のように重い足。「父ちゃん頑張れ」先に登頂した山頂から声をかける小学二年生だった長男に励まされ、こんなに辛いのかと必死の思いで登り、最後は這うようにして登りきった記憶がある。

同じ仲間に田村宮司もおり、当日は山頂の山小屋で準備して待っていてくださった事もあり、その夜は大いに盛り上がり本当に愉しかった。味を占めたものか翌年、翌々年と同じ仲間で太平山の頂きを目指した。

山頂の絶景は素晴らしく、世界遺産白神山地、大館樹海ドーム、男鹿半島、大潟村干拓地、日本海、仙北平野、秋田駒、鳥海山などの県内が一望出来る大パノラマが広がる。又、登山道には樹齢数百年と思われる天然秋田杉やブナ林の手つかずの樹海が広がり壮観の一言につきる。

小さなキッカケから始まった山登りだったのだが、そうこうしているうちにその仲間と目指す「頂き」には秋田駒、月山、八甲田山、岩木山、と東北の山々が加わっていき、いつの頃からか、たった一人でも山の中にいるようになっていた。日々の雑踏から解放され、無心で山々の自然に癒され、一人きりを愉しむ至福の時間。水の音を聴き、木々の匂いに包まれ、濃緑滲む木漏れ日を浴び、雄大な自然の中にたった一人いると、人間のちっぽけさや、普段のたくさんの人々に囲まれて生きているありがたさに気づき、不思議と神秘的な気持ちになる。そして大自然への感謝の気持ちが生まれてくる。特に太平山の山中にお いては強く強くそうした事を感じる。やはり信仰厚い大神様のなせる業か。

今では自分の趣味の一つとなった山登りだが、そう長くはない山登り経験で一番多く登っている山が太平山であり、そのキッカケを与えてくれたのもやはり太平山である。三年ほど前に「神社協力会」が発足してからは、お誘い戴き、そのお手伝いをさせていただく機会にも恵まれた。これからも感謝の気持ちを忘れずに山を楽しませて戴きたいと思っている。

言挙げ㊿

お酒の甘口・辛口とは

権禰宜　上村治弘

私の前回の言挙げ（三吉一三七号）では、「秋田はなぜ〝飲んべえ〟が多いか」というのを述べさせていただきました。

今回は、〝飲んべえ〟に飲まれる「お酒」の『甘口・辛口』について述べさせていただきますが、本題について述べる前にちょっと考えてみましょう。

現在のお酒には特選・上撰、あるいは以前まであった特級・一級・二級と言うような日本酒用語はどのような印象がありますでしょうか。おそらく前者は素材や造り方の違い、後者は上中下といったランクといったような印象かと思います。

それと似たように、消費者の目に見える日本酒の『甘口・辛口』という売り手側の表示も、どうやら言葉のイメージだけが先行しているようです。

本来『甘口・辛口』と言う表現は、日本酒度（甘口・辛口の目安となる。糖分の多い方がマイナス、少ない方がプラスとなる。つまり、マイナスの度合いが高いほど甘口、プラスの度合いが高いほど辛口）と酸度（日本酒に含まれる酸の総量。酸が多いほど辛く・濃く感じられる）の数値によって分けられているようですが、私を含め消費者にはそういった分析値は専門的で、ほとんど理解されていないと思います。

厳密には、たとえば酸度の違いによる『甘い・辛い』の分岐点は濃醇・淡麗という分別も含めると、『甘い・辛い』は単に日本酒度だけを見てプラス何度だから、どうこうとは言えないのです。

基準としての『甘口・辛口』の分け方は何かと言いますと、結論から言えば比重なのです。

米を醸していくとどんどんお酒になりますが、アルコールばかりだと比重が軽くなり、水に浮きます。この場合、当然数値はプラスになりますから『辛口』と言うことになります。

ところが、地方の蔵元や杜氏によっては、この造り方の中でも米の養分をたっぷり残した日本酒があるわけです。これは逆に比重は重く『甘口』と言わざるをえません。

私たち消費者には、どうしても言葉として「甘い＝糖」というイメージがありますが、本来の『甘口・辛口』の分け方とは、糖に関係なく、前述のような米の養分がたっぷりと濃く残った日本酒なのか、それともアルコール分の多いさらっとした日本酒なのかを測る意味での表現なのです。

数値上の分類や表示上の差別化は確かにありますが、それはあくまで参考にすることであって、やはり自分の口と舌と喉で感じる味わいが、自分の『甘口・辛口』の基準になると言うことです。

第54回 第55回 『太平山に登ろう会』のご案内

太平山頂上奥宮に参拝し、山小屋に１泊いたします。夕陽や星空、ご来光を見る絶好のチャンスです。

山岳会員が同行案内しますので、初心者の方、おひとりでのご参加でも安心です。是非奮ってご参加下さい。

記

- **期　日**　第54回：7月26日㈯～ 27日㈰（1泊2日）
  第55回：9月６日㈯～７日㈰（　〃　）
- **集　合**　午前11時　里宮
- **参加費**　9,500円（宿泊・交通費・保険料・初穂料・食事代・記念写真代等一切を含みます）
- **申込み**　10日前までに係（第54回：上村、第55回：原田）までお申込下さい。（定員各20名）
- **登山路**　旭又（仁別）コース往復（時間はあくまでも目安）

１日目

里宮　11：00集合　安全祈願後出発→旭又園地（12：30）→御滝神社→御手洗（みたらし･冷たい湧水･ブナ林）→太平山山頂（16:30頃）祈願祭の後夕食直会【山頂山小屋　泊】

２日目

（朝拝行事･朝食）→御手洗→御滝神社→旭又→仁別森林博物館見学→里宮（昼食後解散）

第４回 『山ガール登山』のご案内　初心者大歓迎

今年で第4回目となる女性限定の登山会。秋田市のシンボル霊峰太平山に登り、山頂で1泊します。登山未経験の方、初心者の方大歓迎です（山岳ガイド同行）。

毎年恒例の懇親会では、お酒を飲みながら女性同士で大いに盛りあがります。是非この機会にお誘い合わせの上、ご参加下さい。

【期　日】平成26年7月12日（土）～ 13日（日）(1泊2日)
【集　合】10：45 里宮
【対　象】健康な方（20代～ 40代の女性限定）で、体力がある方
【参加費】6,000円　（宿泊・食事代、初穂料、保険料、写真代等含む）
※山道の運転に自信のない方は、神社の車にて登山口へ向かいます。
【申込み】電話・ＦＡＸ・メール等。7月７日締切り（定員20名）。担当：和田

１日目

里宮10:45集合　安全祈願→ザ・ブーン→旭又園地→御滝神社→御手洗（冷たい湧水・ブナ林）→山頂着16：15頃（祈願祭、夕食懇親会）【山頂泊】

２日目

（朝拝行事･朝食）→出発→旭又園地→ザ･ブーン着11:30頃　（お風呂・昼食後解散）

※ご不明な点（荷物・服装など）に関しましては、担当和田迄ご連絡ください。

平成26年 太平山 山開きのご案内

去る６月１日、快晴に恵まれる中で本年の物資の空輸作業を行い、無事終了いたしました。
周辺市町村のシンボルでもある霊峰≪太平山≫では、本年も10月初旬まで奥宮並びに山小屋を開所し、神職関係者が常駐いたします。
お陰様をもちまして、近年は山ガールを始めとする若い方や、≪新日本百名山≫に選出されたことから、県外からの登山者も増えております。
ご地元の皆さま、またご崇敬の皆さまのご登拝を、心よりお待ちいたしております。

奥宮と山小屋

≪太平山≫・標高1,170m～地理院改定で１m低下
古くより薬師の峰・修験の山として崇敬を受けるとともに、多くの校歌に歌われ豊かな自然の恵みをもたらす山として親しまれてきました。
頂上には奥宮社殿と山小屋がございます。
山頂からは男鹿半島の夕陽や360度のパノラマ、また満天の星空やご来光をお楽しみ頂けます。

≪奥　宮≫　平成22年竣功。頂上に位置する神社としては全国有数の大きさ。

≪山小屋≫　不慮の火災焼失を受け平成21年再建。30名宿泊可能。（要予約）

≪本年の主な登山会の予定≫

・奥宮・山小屋開所	6月１日（日）～10月２日（木）
・関係市町村合同登山	6月８日（日）
・マンタラメ主催青少年登山	6月28日（土）～29日（日）（１泊２日）
・第４回山ガール登山	7月12日（土）～13日（日）（１泊２日）
・太平山山開き（開山祭）	7月17日（木）御神体を山頂へお遷しします
・小松由佳さんと太平山チャレンジ（太平山観光開発主催）	7月21日（月）
・神社主催太平山登ろう会（１泊２日）	① 7月26日（土）～27日（日） ② 9月　6日（土）～7日（日）
・閉山祭	9月17日（水）御神体を里宮へ遷御

※各種登山会の詳細等は、お気軽に神社にお尋ね下さい

○丸舞（岩見三内）コースは橋が崩壊、軽井沢（国民の森）コースは草が覆っています。
○山頂には、改修が終わるまで仮設トイレを設置します。

～山頂に落雷被害～

５月20日、協力会員のお力添えを頂き、山頂にて事前準備作業を行いました。
その際、奥宮・山小屋共に冬季の落雷被害が確認されました。

６月１日空輸作業

夏越の大祓式のご案内

○日　時　六月三十日(月)　午後三時（里宮）

この半年の間に知らず知らずの内に自分の身に積もった罪穢れや災いを、形代（かたしろ）や切麻（きりぬさ）、また茅の輪で祓い清め、この夏の邪気を祓い、残る半年を心身ともに清々しく過ごすことをお祈りいたします。

是非、ご家族皆さまお揃いでご参列くださいませ。

《形代でのお祓いのしかた》

一、形代にそれぞれご家族の氏名・生年月日をお書き下さい。

二、形代で全身を撫でて祓い清めます。特に病気やケガなどで具合の悪い所を入念にお祓い下さい。

三、次に形代を両手で持ち、思いをこめて大きく三度息を吹きかけて下さい。

●形代は神社にご用意しております。必要数をご連絡下さい。

●以上を行った後、ご家族の分をまとめて当日ご持参下さい。

尚、ご都合のつかない方は、随時ご持参又はご郵送下されば神事ご奉仕の上、ご神符をお送り致します。

茅の輪神事

六月三十日(月)
午後三時斎行

水無月の
なごしの祓する人は
千歳の命延ぶといふなり

第29回 太平山写生会

秋田のシンボル太平山をかこう!!

平成26年７月５日(土)
午前 9:00
太平山三吉神社社務所集合

日　　時　平成26年７月５日(土)
午前９時～（終了次第解散）
【雨天時７月６日(日)に順延】

集合場所　太平山三吉神社　社務所

参加申込　当日集合場所で受付けます。

参加対象　幼児、小・中学生、ご父兄

写生場所　太平山三吉神社　境内

写生対象　太平山・神社建物、景色など

様　　式　水彩･クレヨン･パステルなど自由

持 ち 物　画版・昼食
（画用紙･飲物は準備しております。）

優秀作品　優 秀 賞（約30点）、に選ばれた方には、８月23日(土)表彰式にて、賞状・賞品を差し上げます。

主　　催　太平山写生会実行委員会

協　　賛　秋田中央郵便局　秋田魁新報社
NTT東日本秋田支店　秋田銀行広面支店
北都銀行広面支店　秋田信用金庫広面支店
㈱マルシン　㈱ぺんてる　㈱花のヤマト
イチノセキ時計店

そ の 他　参加者には記念品を差し上げます。

問 合 せ　(834) 3443　係：和田まで

みよしスケッチ

春季例大祭（五月七日・八日）

好天のもと賑々しく斎行されました。

当日祭

直会

講社旅行（五月三十一日）

由利本荘市岩城熊野神社様に参拝いたしました。

山頂準備作業（五月二十日）

残雪の中、山頂の開所準備を行いました

札幌三吉神社例祭参列（五月十五日）

神武館後援会総会（四月十八日）

神社協力会総会（四月二十六日）

本年度の活動について打合わせいたしました。

平成26年 開山祭

恒例により平成二十六年度開山祭を左記により斎行いたします。多数の方のご参列を賜わりますようご案内申し上げます。

記

日　時　七月十七日㈭　午前十時

於　里宮拝殿（直会はございません）

この祭儀は古式に則り、里宮での神事の後、神人奉仕の方々により御神体を太平山山頂に御遷御申し上げます。

○ご参列の方は、七月十日までに係　和田までご連絡下さい。

○神人奉仕・斉館宿泊希望の方、神人と同行せず別途登拝予定の方は、必ずご連絡願います。

○神人奉仕者は斎戒沐浴を厳守下さい。

平成26年　下半期主な神事予定（山関係は５頁参照）

10月１日(水)	午前10時	印章供養祭	感謝を込めて印鑑を供養するお祭
	午後１時	人形感謝祭	愛着ある人形に感謝を込めてお焚き上げする神事（人形は９月20日よりお預かり致します）
10月16日(木)	午後６時	秋季例大祭宵宮祭	一年の恵みとご加護に感謝する秋の例大祭 県内外からの多くの参詣者で賑わいます
10月17日(金)	午前11時	秋季例大祭当日祭	
10月25日(土)	午前8時30分	歩こう会	近隣の社寺・史跡を歩いてまわります。
11月23日(日)	午前10時	新嘗祭	五穀の収穫に感謝する祭典
12月13日(土)	午前10時	煤払い式	境内建物のすすを払い、新年を清々しく迎えるための恒例行事
12月中旬		神符守札遷霊清祓式	新年に頒布するお札、お守りをお祓いいたします
12月31日(水)	午後２時	師走の大祓式	一年の罪、穢れを祓い清め、心新たに新年を迎えるための恒例神事

※毎月８日・17日は月次祭（午前10時）がございます。
※各祭典ともどなたでもご参列頂けます。お気軽にお問い合わせ下さい。

秋季例大祭

歩こう会

煤払い式